

# メッセージ

核兵器廃絶を広く訴え、平和な世界の実現のため、「原水爆禁止2020年世界大会」がオンラインという形で今年も開催されることは誠に意義深く、日頃より未来の恒久平和実現のため様々な取り組みをされている皆様に心から敬意を表するものであります。

平和な未来の実現は、世界中の多くの人々の願いです。しかし、今も争いは絶えることなく、また核兵器の脅威も消えることはありません。

このような中で、すべての核兵器と戦争のない恒久平和を広く訴えるとともに、戦争の悲惨さや、戦争が人間の尊厳を大きく傷つけるものであることを後世に語り継ぎ、私たち一人ひとりが平和を心から希求することは、世界唯一の戦争被爆国であるわが国の責務であります。

岐阜市においても、真の恒久平和の実現を願い、昭和63年に「平和都市宣言」を行いました。また、市民の皆様と平和への思いを紡ぐため、岐阜市平和資料室での資料展示や、市民からの「平和の折り鶴」の募集と展示、「子どもたちに伝える平和のための資料展」の開催、毎年7月9日の「平和の鐘」式典の開催などの啓発事業を推進しております。

現在、本市では、新型コロナウイルス感染防止対策に全力で取り組んでおりますが、こうした中であっても、戦争の悲惨さや平和の大切さを共有し、後世に伝え続けていきたいと思っております。

この原水爆禁止運動のような、多くの人々の平和を願う行動が、国・世代を超えて大きな力となり、すべての核兵器と戦争のない真の恒久平和の実現につながることを心から祈念し、メッセージといたします。

令和2年7月27日

岐阜市長 柴橋正直



# 平和メッセージ

世界の恒久平和を実現することは、私たちが共通して願い求めていることです。

しかしながら、世界各地では未だ紛争やテロが絶えることはなく、多くの尊い命が奪われています。

昭和20年6月22日、私たちのまちでも各務原空襲により多くの方が犠牲となりました。私たちは、この日を「平和の日」と定め、戦争による悲惨な記憶を風化させないようにするとともに、平和への誓いを新たにすため、「平和の折り鶴」の募集・展示、「平和の日パネル展」などの平和事業を推進しています。

世界では、人類が初めて体験するウイルスが猛威を振るい、命の尊さを改めて認識する今、一瞬にして命を奪う原爆の脅威・戦争の悲惨さを風化させることが無いよう、私たちは、世界で唯一の被爆国として、平和の尊さを次の世代に伝えていく必要があります。

皆様方の崇高な運動が大きな成果をあげられ、核兵器の廃絶と世界の恒久平和が実現しますことを、心より祈念申し上げます。

令和2年7月8日

各務原市長 浅野 健 司

## 原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）へのメッセージ

羽島市長 松 井 聡

原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）が、多くの賛同者のご参加を得て、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

私たち人類にとって、恒久平和の実現は世界共通の変わらぬ願いです。しかし、世界各地で戦争や紛争などの悲惨な戦火の報道は後を絶たず、多くの人々の命が奪われています。また、地球環境と生態系の破壊をもたらす核兵器の脅威は依然として続いており、真の恒久平和は実現していません。

私たちは、戦争や核兵器のない平和な世界の実現を強く願い、世界唯一の核被爆国として世界中の人々に平和の大切さを訴え続けていかなければなりません。平和への願いが世界に広まり、すべての核兵器と戦争のない真の恒久平和が実現されますよう心から祈念し、メッセージとさせていただきます。

原水爆禁止二〇二〇年世界大会へのメッセージ

原水爆禁止二〇二〇年世界大会にご参加の皆様  
に敬意を表します。

郡上市は、平成十六年に市民の生命の安全を  
保持し世界の恒久平和を目指す「郡上市非核平和  
宣言」を行いました。

広島・長崎への原爆投下から七十五年という月日  
が経過することに深く思いを致すとともに、  
「核兵器のない世界」が実現し、世界の恒久平和が  
達成されることを強く願うものであります。

今回の世界大会が世界の平和につながる意義  
深いものとなりますよう祈念申し上げます。

令和二年八月二日

岐阜県郡上市長 日置 敏 明

メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）の開催にあたり

地球上の全ての尊い生命と地球環境を守るために、

核兵器の廃絶と世界の恒久平和を希求いたします。

令和二年八月二日

多治見市長 古川雅典



「核兵器のない世界」それは、原爆の悲劇を体験した、私たち日本人の願いであります。

2017年に国連で核兵器禁止条約が採択され、核兵器廃絶に向けた新たな一歩が踏み出されましたが、一部の国では、依然として自国防衛のための核保有や、ミサイル発射実験が行われており、今なお何万発もの核兵器が、人類の生存を脅かしています。

今年は、広島・長崎に原爆が投下されてから75年、核兵器不拡散防止条約（NPT）発効50年を迎えました。どんなに時が過ぎようとも、被爆によって受けた痛みの記憶が消えることはありません。

私たちは、その記憶・記録を世界で唯一原爆が投下された国として世界に核兵器廃絶を訴えていかなければなりません。また、過去の歴史を見つめ直し、戒めることによって、新たな平和社会を築いていかななくてはなりません。二度とあの様な悲惨な光景が、地球上のどこであってもしるることのないように……。

「核兵器のない平和で公正な世界」実現への願いを込め、原水爆禁止2020年世界大会へのメッセージとさせていただきます。

令和2年7月22日

岐阜県土岐市長 加藤淳司

## 平和メッセージ

「原水爆禁止2020年世界大会」の実施にあたり、関係者の方々のご尽力に心より敬意を表します。

現在、私たちは新型コロナウイルス感染症の拡大により、第二次世界大戦を超える地球規模の危機に直面しています。私たちはこの危機を乗り越えていくために、これまで以上に、国を超えた協調や平和への強い想いが必要です。

戦後75年を迎える今、依然として世界各地で戦争や紛争、核兵器の脅威が絶えることなく、罪のない多くの命が奪われています。私たちは世界で唯一の被爆国として、原爆の恐ろしさや平和の大切さを、途絶えることなく後世に伝えていかなければなりません。

皆様の活動を通じ、平和の尊さ、大切さが広く深く伝わり、世界中が協力して平和を維持していく機運となることを祈念いたしまして、平和メッセージとさせていただきます。

原水爆禁止世界大会実行委員会 御中

令和2年8月2日

瑞穂市長 森 和之

## 原水爆禁止2020年世界大会メッセージ

「原水爆禁止2020年世界大会」にご参加の皆様をはじめ、実施にあたりご尽力された関係者の皆様方に心より敬意を表します。

世界の恒久平和の実現は、私たち人類の共通の願いです。

しかしながら、地球上には依然として核兵器が増え続け、私たちは未だ核の恐怖に晒されています。核兵器廃絶までの道のりはまだまだ長く険しいと言わざるを得ない状況です。

私たちは世界で唯一の被爆国に住む者として、核兵器の恐ろしさや平和の尊さを世界に発信し続けていく責務があります。紛争と戦争をやめ、核兵器廃絶を実現するまで、訴え続けなければなりません。

こうした活動により、世界へ平和に対する強い思いが伝わり、平和実現につながりますことを願い、メッセージとさせていただきます。

令和2年 7月 2日

笠松町長 古田 聖人



## 原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）の開催にあたり

「核兵器のない世界」の実現に向け、ご尽力いただいております参加者及び実行委員会の関係者の皆様には、心より敬意を表します。

核兵器廃絶や平和な世界の実現は全国民共通の切なる願いであります。広島長崎に原爆が投下され既に 75 年の節目を迎えますが、今なお核兵器の脅威は続き、世界平和と人類の生存に大きな脅威を与え続けています。

日本は世界唯一の核被爆体験国であり、ここに住む私たちは、広島、長崎の惨禍を二度と繰り返さぬよう、全世界に向けて核兵器の廃絶と戦争の根絶を訴え続けなければなりません。

この原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）が、「核兵器も戦争もない世界」の実現のための大きな一歩となることを信じて、平和メッセージといたします。

岐阜県羽島郡岐南町  
町長 松原 秀安

## 平和メッセージ

当町は、平成7年に「核実験の即時中止と核兵器廃絶と国際条約締結を求める意見書」を政府に提出し、平和市長会議のヒロシマ・ナガサキ議定書に賛同署名をしています。

また、自然と緑が調和した当町は、平成28年にスタートした第6次総合計画の中で、「安全で住みやすいまち」をめざしています。

やすらぎと希望に満ちた平和な日々を送ることは人類共通の願いですが、現実の世界情勢では、核を保有しようとする国家が後を絶ちません。いまでも世界のどこかで人の命の尊さを踏みにじるような争いが続き、人類は核兵器の脅威にさらされていますので、世界の人々が真の平和を願いつつも、いまだその実現は困難な状況であります。

日本国民は、世界で唯一の悲惨な被爆国であり、当町は、日本国憲法が掲げる平和理念に基づき、いかなる核兵器もこの地球上から廃絶し、世界の人々とともに真の恒久的平和の実現を願うものであります。

令和2年7月1日

岐阜県加茂郡坂祝町長 柴山佳也

原水爆水禁止世界大会実行委員会 様

原水爆禁止世界大会実行委員会の皆様へ

原水爆禁止2020年世界大会が広島、長崎で盛大に開催されますこと大会役員皆様のご労苦に敬意を表します。

世界で唯一被爆の国として平和を願う皆様が核兵器のない平和で公正な世界の実現に向け日々ご尽されておりますことを感謝申し上げます。米朝首脳会談により朝鮮半島における平和体制づくりへの一歩が動き出したところです。皆様方には継続して「国民平和大行進運動」や署名活動、更に原水爆禁止運動への取り組みを熱心に行動し続けていただいております。とりわけ唯一の被爆国日本の世論と運動の果たす役割は重要であると考えております。

一日も早い世界平和と核兵器のない世界が来ることをお祈り申し上げます。

令和2年6月30日

岐阜県揖斐郡池田町長

岡崎 和夫

## メッセージ

核兵器廃絶を訴え、恒久平和の実現のため、日頃より様々な活動を展開してみえる皆様の強い思いやご尽力に対し、心から敬意を表します。

国際的に核軍縮が叫ばれているなか、一部の国では今なお核兵器の開発や実験を繰り返しています。唯一の被爆国である私たちは、このような非人道的な行為を強く非難するとともに、核兵器の恐ろしさを訴え続けていく責務があると認識しており、核兵器廃絶の推進に向けた皆様のご活動の輪が、さらに広がっていかれることを切望しております。

結びに、「原水爆禁止2020年世界大会」の成功と、ご参加の皆様のみずみずのご活躍、ご健勝を祈念申し上げ、メッセージといたします。

令和2年7月1日

北方町長 戸部 哲哉